

PRESS RELEASE



株式会社シー・エム・エス

2名の写真家と、下田写真部による伊豆急行 8000 系車内写真展
「でいす・いず・いいとこ写真電 2016-2017」開催のお知らせ

2016年3月17日

この度株式会社シー・エム・エスは、下田商工会議所、伊豆急行株式会社との共同企画として、静岡県下田市で活動する下田写真部（下岡蓮杖プロジェクト）による電車内写真展「でいす・いず・いいとこ写真電 2016-2017」を開催致します。（協賛：株式会社ニコンイメージングジャパン）

今回で3回目となる電車内写真展。3両の伊豆急 8000 系社内で、写真家の MOTOKO 氏、鈴木麻弓氏、そして下田写真部が撮影した下田の写真 30 点×2 セットを 1 両ずつ、計 180 点を展示します。昨年の春から下田に通い続けた 2 名の写真家と、下田に暮らす写真部のメンバーが撮影を重ねた「まちの日常」や「下田に住む人々の物語」。ゆるやかに流れる、伊豆急行線の美しい車窓風景を併せてお楽しみください。



「でいす・いず・いいとこ写真電 2016-2017」開催概要

開催期間： 2016年3月23日（水）～2017年1月末（予定）
会 場： 伊豆急行 8000 系電車（3両編成）内
展示作品： MOTOKO 氏、鈴木麻弓氏、下田写真部による、
「下田」を舞台にした作品それぞれ約 30 点

作品イメージ



撮影：下田写真部



撮影：鈴木麻弓氏



撮影：MOTOKO 氏

プロフィール

鈴木麻弓

1977年宮城県女川町生まれ。神奈川県逗子市在住。
祖父が昭和5年に創業した写真館を営む家庭で18歳まで育ち、
日本大学芸術学部写真学科で写真を学ぶ。
渡部さとる氏のアシスタントを経て、大学卒業後フリーランスとして、
ポートレートを中心活動。2011年東日本大震災にて、
故郷である女川町の7割が壊滅、両親が行方不明となる。
以降、故郷へ足しげく通い、人間の尊厳をテーマに、
地域の人々の前に進む姿を記録し続けている。



MOTOKO

1966年大阪府生まれ。1990年大阪芸術大学卒業後、
1996年からプロとして活動を開始。2007年から滋賀県の農村をテーマに、
写真とテキストで記録された「田園ドリームプロジェクト」をスタート。
2013年には、小豆島で暮らす60歳以上の男女の顔写真を撮影した
「小豆島の顔」プロジェクトを開催。現在、「地域と写真」をテーマにした
「ローカルフォト」という活動を、香川県小豆島や長崎県東彼杵をはじめ
さまざまな地域で行っている。



下田写真部

日本人最初期の商業写真家、下岡蓮杖の生誕の地である
下田で結成した写真グループ。下田商工会議所が主催する
「下岡蓮杖プロジェクト」の一環として、下田市とその近隣に住む、



宿泊、飲食など観光業経営者や役場勤務、デザイナー、
さらには写真家まで、バラエティ豊かな 13 名が集まり、
2015 年 5 月に結成した。まちに暮らし、人々の関係性があるからこそ撮れる
「下田に暮らす人々とその風景」を、facebook で日々発信している。

◆情報掲載・企画内容に関するお問い合わせ先◆

株式会社シー・エム・エス

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-6-6 エクスアートビル 2F

TEL:03-5524-6991 FAX:03-5524-6992 URL : <http://www.cmsinc.jp/>

平日 : 10:00 ~ 18:00 (土日祝除く)